

第2次総合計画 重点分野 施策「学校教育の充実」

事業名「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

1 基本方針

- ① 児童生徒一人一人のニーズに応じた教育の推進と教員の授業力の向上
- ② 基礎知識の定着とともに、思考力・判断力・表現力を身に付け、学習意欲と学力が向上し、千葉県標準学力テストにおいて県平均を超える児童生徒の育成。

2 計画期間での主な取組内容

- ① 市雇用の少人数指導講師を配置・増員し、きめ細やかな少人数指導の充実
- ② 基礎的・基本的な知識を習得するためのドリル学習の推進
- ③ ICT機器を有効的に活用した授業の推進
- ④ タブレット等を活用した反復学習の推進
- ⑤ 市内全生徒に英語検定料（一人年1回）の全額補助と英語力アップ講座の開催
- ⑥ 市内全児童を対象に異文化理解講座の実施
- ⑦ 小学校の教員を対象にした外国語授業力アップ研修会の開催

3 具体的な方策（取組）

○児童生徒の学力向上に向けての取組

☞「学力向上推進校」の指定

- ・小学校1校、中学校1校をモデル校として指定し、市雇用の少人数指導講師等の人的配置や教員サポート、ドリル学習支援などを行う。

○教員の授業力向上に向けての取組

☞「授業力向上研修会」の開催

- ・ICT機器を有効活用、スキルアップのための、ICT支援員を活用した校内研修の計画と実施。
- ・小学校の教員を対象にした外国語授業力アップ講座の開催（年2回）
- ・全国学力学習状況調査のデータ検証と活用についての専門の講師を招いての研修会の実施。

○NPO法人GAAと連携した取組

☞「学習支援パイロット事業」の実施

- ・小学校の低学年（1・2年生）を対象に、ティームティーチングによる少人数指導を実施し、低学年段階の学力差の解消と学びの基礎を構築する。

4 検証について

○市内全小学5年生の県標準学力検査の県平均を超えた児童数／対象全児童数

※対象教科は、4教科（国算理社）の合計点

○市内全中学2年生の県標準学力検査の県平均を超えた生徒数／対象全生徒数

※対象教科は、5教科（国数英理社）の合計点

児童生徒の一人一人のニーズに対応した、学習環境を整え学力の向上を目指します。